

Open Talks!

2014年12月号



新砂センター開設から1年半が経過！

まだまだ社内やお客様からもどんなセンターなの？とお問合せが後を絶たない為、新砂センターの近況とスタッフ紹介、周辺のお出かけスポットと合わせてご紹介します！

新砂センター

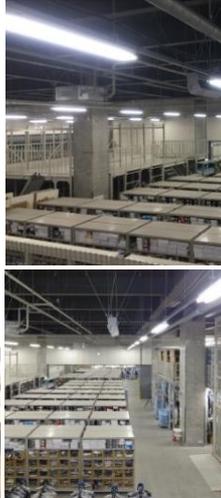
株式会社 オーティエス
唯一、江東区にあるセンター

新砂センターとは
2013年に竣工した佐川急便S.T.L.C内に営業所を構える新築のセンターで、ファッションブランド様のネット通販のフルフィルメントセンターとしてスタート。また、今年の8月から新しいお客様も迎え、お客様の動向に合わせてスペースの拡張やスタッフの増員を行いながら理想のセンターを目指し、スタッフ全員が試行錯誤を重ね日々業務に取り組んでおります。

積層棚の設置に伴い大規模なレイアウト変更を実施！

スペースを拡張するに当たり、天高を利用した積層棚の設置工事を7月に実施し、約450坪のスペースを拡張。他の区画スペースも並行して借入れる事で、開設から約1年半で当初の倍のスペースを使用した業務運用を実現。また、今年の1月に新たに積層棚を増設しリフレッシュルームを積層棚上部に移動。業務環境の整備として大規模な照明工事や、作業時の区画間の移動でシャッターの開閉を行わずに済むようにアコーディオンカーテンを設置するなど、働く人達が安全に効率よく仕事が行える環境作りを実施しております。

常に変化しているセンターの為に、次に来社される時は、何かが変わっているかも知れませんね。



4階食堂

新砂センターの4階にはなんと食堂があるんですよ！定食の内容も日々変わり、美味しく雰囲気も良い事から利用する方が多くいます！是非いろいろ利用した際には利用して見てください。

営業時間

【昼】 11時00分～14時30分
【夜】 17時00分～19時30分

定休日

日曜日、祝日
お盆、年末年始
平均予算500円



スタッフ紹介

事務所/現場管理 森	事務所/現場管理 岩田	事務所/現場管理 渡部	庶務兼現場管理 須賀	現場リーダー 阿部	副センター長 松戸	センター長 岩掛
----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	--------------------



新砂センター周辺お出かけスポット

越中島支線

越中島支線ってなに？
越中島支線とは小岩駅～越中島貨物駅までを結ぶJR総武本線の鉄道路線の通称です。

江東区内を流れる運河との物流連絡のため、1939年に亀戸駅～小名木川駅まで

開設しました。その後現在の越中島貨物駅まで延伸され、1989年までは晴海や豊洲までつながっていたそうです。最盛期には290万トンの貨物を取り扱っていましたが、物流の変化により小名木川駅は廃止になり(跡地にはアリオ北砂ができました)現在は越中島貨物駅構内にある東京レールセンターから鉄道用のレールを平日のみ1日3往復運行しています。1日3往復といっても運ぶレールがなければ運休になるので、確実には1往復のようです。新砂センターへお越しの際に足を運んでみてはいかがでしょうか。



時刻表

行き	新小岩駅	12時10分発
越中島貨物駅	12時22分着	
越中島支線	12時22分着	
越中島貨物駅	12時22分着	
新小岩駅	12時35分発	
帰る	越中島貨物駅	13時55分発
越中島支線	13時42分着	
越中島貨物駅	13時42分着	

OTSのサービスを振り返って【連載企画：その3】

今年の10月で29期となり、来年で30期を迎えるにあたって、連載にてお届けいたします！OTSのサービスの変遷を振り返り、これからもファッション企業様のお役に立てよう、様々なサービスに挑戦してまいります。

『お客様、社内の要望・夢を実現させることがシステムのポリシー』

私はOTSに入社して22年目となります。入社当時の1993年は、オフコン専用端末がメインで稼働しており、PCはほとんど高価で10数台しかありませんでした。値札作成はもとより出荷指示はFAXでいただいた情報を、全て手入力による作業を行っていました。IT化へ向けて1997年には無線ハンディの導入が始まっており、振り返れば17年も前からあたり前のように使っていたんですね。その後はExcelのコピー＆ペーストなど、データ活用による入出力の取り組みが始まり、さらにはAccessを活用した値札データ抽出による発行など、効率化への取り組みが本格化しました。『お互いに楽になろう』といった考えのもと、お客様とOTSの現場スタッフに、『良かった』と言ってもらえるように、日々進化する情報技術を活用して、要望や問題の解決、そして提案活動に今後もつなげていきたいと考えています。

次号予告
『お客様を好きになって、はじめて自分に何が出来るかを考えられるようになる』

業務統括部長 執行役員 岩掛 昭宏

QC鳴村が発信!! ~なるほど納得!~ 知っておくとタメになる豆知識

今回はこれからの寒い季節にみなさんお世話になるウール素材についてです。

ウール製品がよく見かける「ウールマーク」ですが実は3タイプあるのをご存知でしたか？

ウールマークは1964年に国際羊毛事務局が品質を証明するシンボルマークとして定められました。

①のウールマークはみなさんが一番よく見慣れているマークだと思いますが、このマークの意味、新毛100%正確には99.7%以上の製品。②は新毛の混率が50%以上含まれているウールマークフレンド製品。③は新毛の混率が30~50%含まれているウールフレンド製品という意味です。

新毛とは羊から刈られたままの毛を使用しているという意味で、一度製品になったものをほぐして使う再生羊毛ではないということです。ウールマークは羊毛の他にもモヤ、カシマヤ、アンゴラ、ビギネーナ、アルパカなどの高級獣毛についても使用を認めています。ウールマークが付いている製品は高品質素材を表していますからウール製品をお買い物の際は賢くチェックしておきたいものです。

① WOOLMARK
② WOOLMARK BLEND
③ WOOL BLEND

羊毛は私たちが干支たな!